

第 55 回「秋田県内家計の消費動向調査」結果

(令和 7 年 3 月調査)

～ 消費マインドは 3 期ぶりに悪化～

【調査の要旨】

- **消費指数**は▲99.5（前期比 7.3 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化した。内訳をみると、景気判断指数が▲58.3（同 3.4 ポイント下落）と 2 期連続で悪化したほか、暮らし向き判断指数も▲41.2（同 3.9 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。
- **今後の見通し**は▲106.1（今回調査比 6.6 ポイント下落）とさらに悪化が見込まれている。内訳としては、景気判断指数は▲58.5（同 0.2 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれるほか、暮らし向き判断指数も▲47.6（同 6.4 ポイント下落）と悪化の見通しとなっている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車の購入」では 4.0%（同 1.2 ポイント下落）、「海外旅行」では 1.3%（同 0.4 ポイント下落）と低下した一方、「住宅、土地の購入」では 1.8%（同 0.5 ポイント上昇）、「住宅リフォーム」では 3.1%（同 0.9 ポイント上昇）と上昇した。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 427 千円となり、前年同期と比べて 6 千円の増額となった。支出面では支出合計が 404 千円となり、前年同期比で 3 千円の減額となった。この結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 94.8%（前年同期比 2.0 ポイント下落）となった。
- **冬季ボーナスの支給状況**については、「支給された」と答えた世帯は 83.6%となり、前回調査（83.5%）に比べて 0.1 ポイント上昇し、引き続き 8 割以上を占めた。
- **最近の給与の実態**は、「変わらない」世帯が定期給与（残業代を除く）については 56.3%、残業代については 75.4%とともに引き続き最も多くなった。

令和 7 年 3 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I.	消費指数	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
(1)	景気判断の概況	3
(2)	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
(1)	暮らし向き判断の概況	5
(2)	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
1.	支出意向 D I の推移	7
2.	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	冬季ボーナスの支給状況と使い道について	11
(1)	冬季ボーナスの支給について	11
(2)	支給額の変化について	11
(3)	冬季ボーナスの使い道について	12
2.	最近の給与の実態について	13
(1)	定期給与、残業代の変化について	13
(2)	今後 1 年間に於ける定期給与増額への期待感について	14
VI.	調査の概要	15

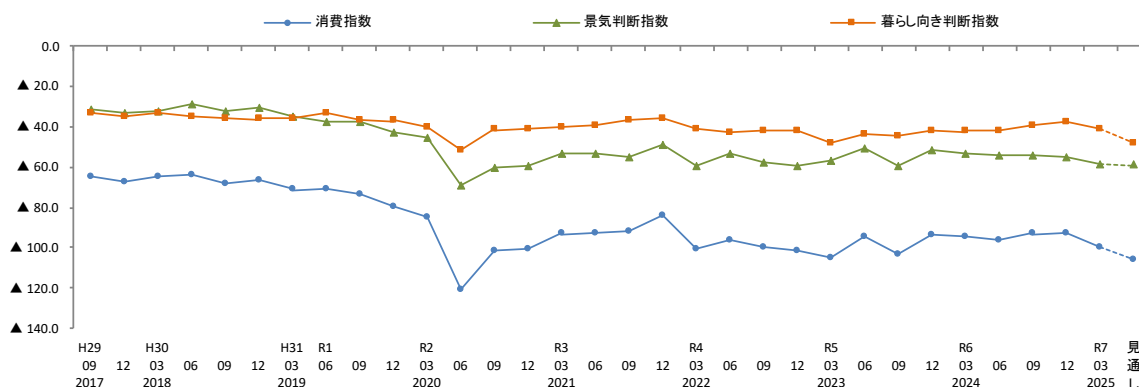
I. 消費指数

～ 消費マインドは 3 期ぶりに悪化 ～

消費指数は▲99.5（前期比 7.3 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化した。内訳をみると、景気判断指数が▲58.3（同 3.4 ポイント下落）と 2 期連続で悪化したほか、暮らし向き判断指数も▲41.2（同 3.9 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。

なお、今後の見通しについては▲106.1（今回調査比 6.6 ポイント下落）とさらに悪化が見込まれている。内訳としては、景気判断指数は▲58.5（同 0.2 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれるほか、暮らし向き判断指数も▲47.6（同 6.4 ポイント下落）と悪化の見通しとなっている。

図表 1 消費指数の推移



調査時期		消費指数		
			景気判断	暮らし向き判断
6年	3月	▲ 94.7	▲ 52.9	▲ 41.8
	6月	▲ 96.2	▲ 54.4	▲ 41.8
	9月	▲ 92.4	▲ 53.7	▲ 38.7
	12月	▲ 92.2	▲ 54.9	▲ 37.3
7年	3月	▲ 99.5	▲ 58.3	▲ 41.2
	(前期比)	(▲ 7.3)	(▲ 3.4)	(▲ 3.9)
	(前年同期比)	(▲ 4.8)	(▲ 5.4)	(0.6)
7年	見通し	▲ 106.1	▲ 58.5	▲ 47.6
	(今回調査比)	(▲ 6.6)	(▲ 0.2)	(▲ 6.4)

【指数の見方】

消費指数は景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は 200～▲200 の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数

調査時期		消費指数										
		(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数					
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり				
2年	3月	▲ 84.5	▲ 44.9	▲ 15.5	▲ 9.1	▲ 20.3	▲ 39.6	▲ 7.9	▲ 11.5	▲ 7.8	▲ 12.4	
	6月	▲ 120.4	▲ 69.0	▲ 24.1	▲ 22.1	▲ 22.8	▲ 51.4	▲ 12.1	▲ 13.5	▲ 11.9	▲ 13.9	
	9月	▲ 101.3	▲ 60.0	▲ 20.2	▲ 18.9	▲ 20.9	▲ 41.3	▲ 9.4	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 12.4	
	12月	▲ 100.3	▲ 59.5	▲ 21.0	▲ 19.9	▲ 18.6	▲ 40.8	▲ 10.2	▲ 10.8	▲ 7.8	▲ 12.0	
3年	3月	▲ 92.4	▲ 52.8	▲ 17.1	▲ 15.9	▲ 19.8	▲ 39.6	▲ 9.4	▲ 10.4	▲ 7.9	▲ 11.9	
	6月	▲ 92.3	▲ 53.2	▲ 16.4	▲ 16.1	▲ 20.7	▲ 39.1	▲ 9.1	▲ 9.6	▲ 8.7	▲ 11.7	
	9月	▲ 91.3	▲ 54.6	▲ 16.7	▲ 15.1	▲ 22.8	▲ 36.7	▲ 7.9	▲ 8.7	▲ 8.9	▲ 11.2	
	12月	▲ 84.1	▲ 48.8	▲ 12.4	▲ 11.0	▲ 25.4	▲ 35.3	▲ 8.4	▲ 9.3	▲ 6.8	▲ 10.8	
4年	3月	▲ 100.5	▲ 59.6	▲ 18.3	▲ 13.8	▲ 27.5	▲ 40.9	▲ 9.5	▲ 10.3	▲ 8.5	▲ 12.6	
	6月	▲ 96.1	▲ 53.5	▲ 14.1	▲ 10.2	▲ 29.2	▲ 42.6	▲ 9.6	▲ 11.2	▲ 8.3	▲ 13.5	
	9月	▲ 99.6	▲ 57.8	▲ 16.2	▲ 12.2	▲ 29.4	▲ 41.8	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 8.8	▲ 13.4	
	12月	▲ 101.4	▲ 59.6	▲ 17.3	▲ 12.6	▲ 29.7	▲ 41.8	▲ 9.4	▲ 9.9	▲ 9.1	▲ 13.4	
5年	3月	▲ 105.0	▲ 56.8	▲ 15.1	▲ 10.8	▲ 30.9	▲ 48.2	▲ 11.0	▲ 11.9	▲ 10.2	▲ 15.1	
	6月	▲ 94.1	▲ 50.9	▲ 12.3	▲ 8.8	▲ 29.8	▲ 43.2	▲ 9.1	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 14.6	
	9月	▲ 103.5	▲ 59.1	▲ 16.6	▲ 11.6	▲ 30.9	▲ 44.4	▲ 9.1	▲ 11.0	▲ 9.8	▲ 14.5	
	12月	▲ 93.3	▲ 51.7	▲ 13.2	▲ 8.9	▲ 29.6	▲ 41.6	▲ 9.1	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 13.6	
6年	3月	▲ 94.7	▲ 52.9	▲ 14.1	▲ 9.7	▲ 29.1	▲ 41.8	▲ 9.7	▲ 10.1	▲ 8.0	▲ 14.0	
	6月	▲ 96.2	▲ 54.4	▲ 15.4	▲ 9.8	▲ 29.2	▲ 41.8	▲ 8.1	▲ 9.6	▲ 9.2	▲ 14.9	
	9月	▲ 92.4	▲ 53.7	▲ 14.9	▲ 8.8	▲ 30.0	▲ 38.7	▲ 6.8	▲ 10.9	▲ 7.7	▲ 13.3	
	12月	▲ 92.2	▲ 54.9	▲ 15.7	▲ 9.0	▲ 30.2	▲ 37.3	▲ 7.5	▲ 9.1	▲ 7.4	▲ 13.3	
7年	3月	▲ 99.5	▲ 58.3	▲ 17.1	▲ 10.0	▲ 31.2	▲ 41.2	▲ 8.4	▲ 9.8	▲ 8.1	▲ 14.9	
	6月(見通し)	▲ 106.1	▲ 58.5	▲ 18.0	▲ 11.0	▲ 29.5	▲ 47.6	▲ 10.8	▲ 11.0	▲ 10.6	▲ 15.2	

(前期差)

調査時期		消費指数		消費指数									
				(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
				①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
2年	3月	▲ 5.1	▲ 2.2	▲ 3.9	▲ 1.3	3.0	▲ 2.9	0.9	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 1.3		
	6月	▲ 35.9	▲ 24.1	▲ 8.6	▲ 13.0	▲ 2.5	▲ 11.8	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 4.1	▲ 1.5		
	9月	19.1	9.0	3.9	3.2	1.9	10.1	2.7	2.9	3.0	1.5		
	12月	1.0	0.5	▲ 0.8	▲ 1.0	2.3	0.5	▲ 0.8	▲ 0.2	1.1	0.4		
3年	3月	7.9	6.7	3.9	4.0	▲ 1.2	1.2	0.8	0.4	▲ 0.1	0.1		
	6月	0.1	▲ 0.4	0.7	▲ 0.2	▲ 0.9	0.5	0.3	0.8	▲ 0.8	0.2		
	9月	1.0	▲ 1.4	▲ 0.3	1.0	▲ 2.1	2.4	1.2	0.9	▲ 0.2	0.5		
	12月	7.2	5.8	4.3	4.1	▲ 2.6	1.4	▲ 0.5	▲ 0.6	2.1	0.4		
4年	3月	▲ 16.4	▲ 10.8	▲ 5.9	▲ 2.8	▲ 2.1	▲ 5.6	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 1.8		
	6月	4.4	6.1	4.2	3.6	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 0.1	▲ 0.9	0.2	▲ 0.9		
	9月	▲ 3.5	▲ 4.3	▲ 2.1	▲ 2.0	▲ 0.2	0.8	0.5	0.7	▲ 0.5	0.1		
	12月	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.3	0.0	▲ 0.3	0.6	▲ 0.3	0.0		
5年	3月	▲ 3.6	2.8	2.2	1.8	▲ 1.2	▲ 6.4	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.7		
	6月	10.9	5.9	2.8	2.0	1.1	5.0	1.9	1.2	1.4	0.5		
	9月	▲ 9.4	▲ 8.2	▲ 4.3	▲ 2.8	▲ 1.1	▲ 1.2	0.0	▲ 0.3	▲ 1.0	0.1		
	12月	10.2	7.4	3.4	2.7	1.3	2.8	0.0	0.6	1.3	0.9		
6年	3月	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.8	0.5	▲ 0.2	▲ 0.6	0.3	0.5	▲ 0.4		
	6月	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	1.6	0.5	▲ 1.2	▲ 0.9		
	9月	3.8	0.7	0.5	1.0	▲ 0.8	3.1	1.3	▲ 1.3	1.5	1.6		
	12月	0.2	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 0.2	1.4	▲ 0.7	1.8	0.3	0.0		
7年	3月	▲ 7.3	▲ 3.4	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 3.9	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 1.6		
	6月(見通し)	▲ 6.6	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 1.0	1.7	▲ 6.4	▲ 2.4	▲ 1.2	▲ 2.5	▲ 0.3		

(前年同期差)

調査時期		消費指数		(1)景気判断指数										(2)暮らし向き判断指数						
				①景気			②雇用環境		③物価		④世帯収入		⑤保有資産		⑥お金の使い方		⑦暮らしのゆとり			
2年	3月	▲ 14.1	▲ 10.4	▲ 6.8	▲ 5.6	2.0	▲ 3.7	0.2	▲ 1.1	▲ 1.7	▲ 1.1									
	6月	▲ 50.1	▲ 31.8	▲ 14.0	▲ 17.6	▲ 0.2	▲ 18.3	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 7.4	▲ 3.2									
	9月	▲ 27.8	▲ 22.7	▲ 10.3	▲ 13.9	1.5	▲ 5.1	▲ 1.9	0.5	▲ 3.1	▲ 0.6									
	12月	▲ 20.9	▲ 16.8	▲ 9.4	▲ 12.1	4.7	▲ 4.1	▲ 1.4	0.3	▲ 2.1	▲ 0.9									
3年	3月	▲ 7.9	▲ 7.9	▲ 1.6	▲ 6.8	0.5	0.0	▲ 1.5	1.1	▲ 0.1	0.5									
	6月	28.1	15.8	7.7	6.0	2.1	12.3	3.0	3.9	3.2	2.2									
	9月	10.0	5.4	3.5	3.8	▲ 1.9	4.6	1.5	1.9	0.0	1.2									
	12月	16.2	10.7	8.6	8.9	▲ 6.8	5.5	1.8	1.5	1.0	1.2									
4年	3月	▲ 8.1	▲ 6.8	▲ 1.2	2.1	▲ 7.7	▲ 1.3	▲ 0.1	0.1	▲ 0.6	▲ 0.7									
	6月	▲ 3.8	▲ 0.3	2.3	5.9	▲ 8.5	▲ 3.5	▲ 0.5	▲ 1.6	0.4	▲ 1.8									
	9月	▲ 8.3	▲ 3.2	0.5	2.9	▲ 6.6	▲ 5.1	▲ 1.2	▲ 1.8	0.1	▲ 2.2									
	12月	▲ 17.3	▲ 10.8	▲ 4.9	▲ 1.6	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 2.3	▲ 2.6									
5年	3月	▲ 4.5	2.8	3.2	3.0	▲ 3.4	▲ 7.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 2.5									
	6月	2.0	2.6	1.8	1.4	▲ 0.6	▲ 0.6	0.5	0.5	▲ 0.5	▲ 1.1									
	9月	▲ 3.9	▲ 1.3	▲ 0.4	0.6	▲ 1.5	▲ 2.6	0.0	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1									
	12月	8.1	7.9	4.1	3.7	0.1	0.2	0.3	▲ 0.5	0.6	▲ 0.2									
6年	3月	10.3	3.9	1.0	1.1	1.8	6.4	1.3	1.8	2.2	1.1									
	6月	▲ 2.1	▲ 3.5	▲ 3.1	▲ 1.0	0.6	1.4	1.0	1.1	▲ 0.4	▲ 0.3									
	9月	11.1	5.4	1.7	2.8	0.9	5.7	2.3	0.1	2.1	1.2									
	12月	1.1	▲ 3.2	▲ 2.5	▲ 0.1	▲ 0.6	4.3	1.6	1.3	1.1	0.3									
7年	3月	▲ 4.8	▲ 5.4	▲ 3.0	▲ 0.3	▲ 2.1	0.6	1.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.9									
	6月(見通し)	▲ 9.9	▲ 4.1	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 0.3	▲ 5.8	▲ 2.7	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 0.3									

II. 消費指数（内訳）

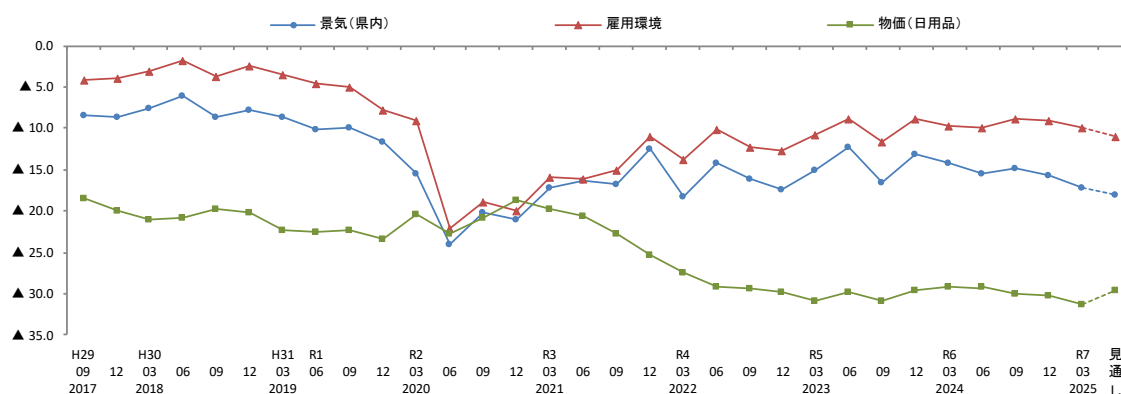
1. 景気判断

(1) 景気判断の概況

景気判断指数は▲58.3（前期比 3.4 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となった。指数を構成する個別指数でみると、「景気（県内）」「雇用環境」「物価（日用品）」すべてが悪化となっている。

なお、今後の見通しについては▲58.5（今回調査比 0.2 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。個別指数でみると、「景気（県内）」は▲18.0（同 0.9 ポイント下落）、「雇用環境」は▲11.0（同 1.0 ポイント下落）とともに悪化の見通しとなった一方、「物価（日用品）」は▲29.5（同 1.7 ポイント上昇）と改善の見通しとなっている。

図表 3 景気判断指数（内訳）の推移



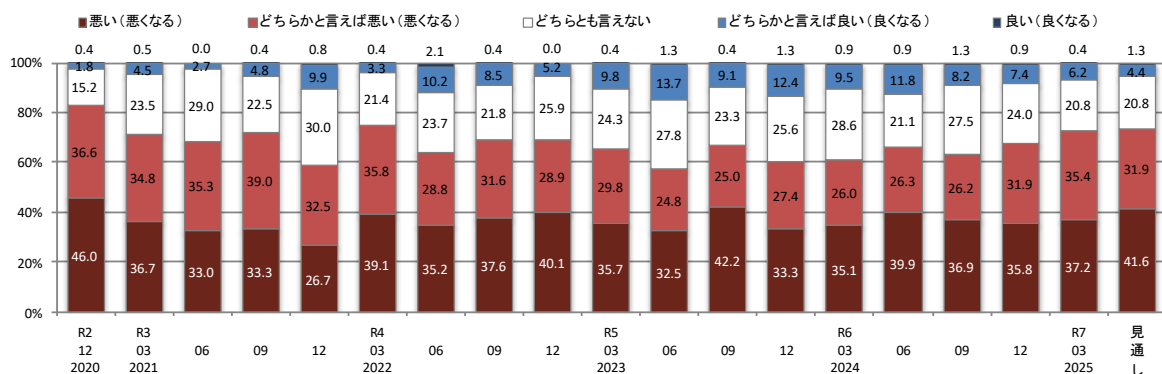
調査時期		景気判断指数			
			景気(県内)	雇用環境	物価(日用品)
6年	3月	▲ 52.9	▲ 14.1	▲ 9.7	▲ 29.1
	6月	▲ 54.4	▲ 15.4	▲ 9.8	▲ 29.2
	9月	▲ 53.7	▲ 14.9	▲ 8.8	▲ 30.0
	12月	▲ 54.9	▲ 15.7	▲ 9.0	▲ 30.2
7年	3月	▲ 58.3	▲ 17.1	▲ 10.0	▲ 31.2
	(前期比)	(▲ 3.4)	(▲ 1.4)	(▲ 1.0)	(▲ 1.0)
	(前年同期比)	(▲ 5.4)	(▲ 3.0)	(▲ 0.3)	(▲ 2.1)
7年	見通し	▲ 58.5	▲ 18.0	▲ 11.0	▲ 29.5
	(今回調査比)	(▲ 0.2)	(▲ 0.9)	(▲ 1.0)	(1.7)

【指数の見方】

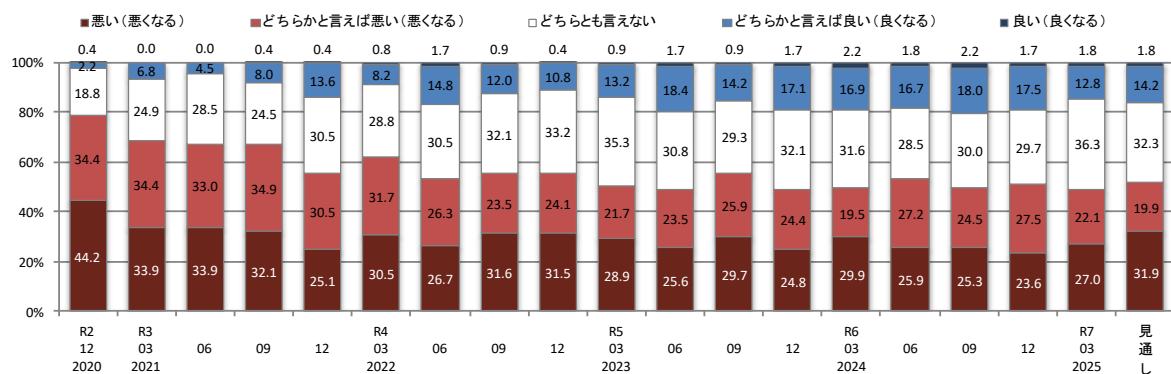
景気判断指数は景気（県内）、雇用環境、物価（日用品）の3項目の合計からなり、値は 100～▲100 の範囲をとります。指数がプラスであれば県内景気は高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば低迷していると判断します。

(2) 景気判断の推移

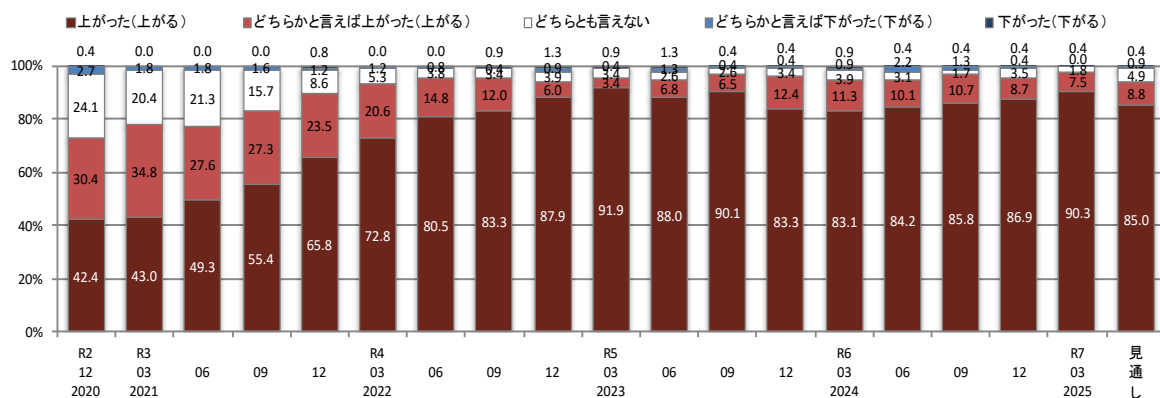
① 景気（県内）



② 雇用環境



③ 物価（日用品）



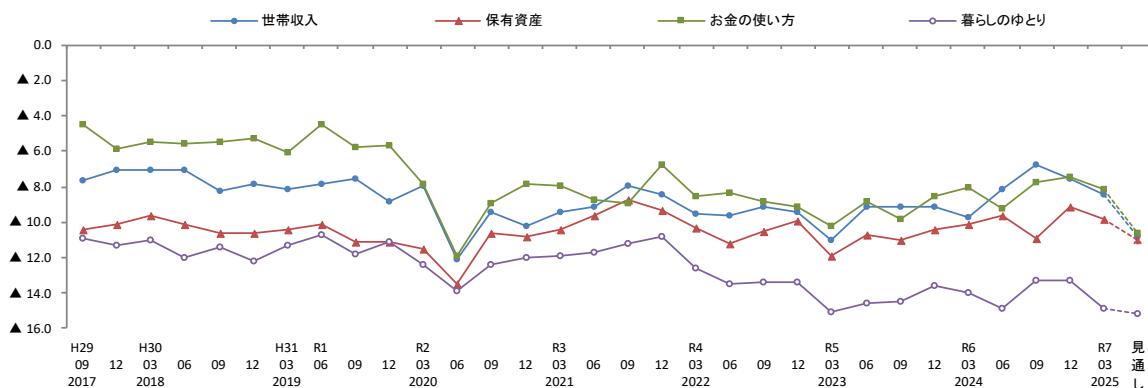
2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲41.2（前期比 3.9 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。指数を構成する個別指数でみると、「世帯収入」「保有資産」「お金の使い方」「暮らしのゆとり」のすべての項目で悪化となっている。

なお、今後の見通しについては▲47.6（今回調査比 6.4 ポイント下落）と悪化の見通しとなっている。個別指数は「世帯収入」「保有資産」「お金の使い方」「暮らしのゆとり」のすべての項目で悪化が見込まれている。

図表 4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



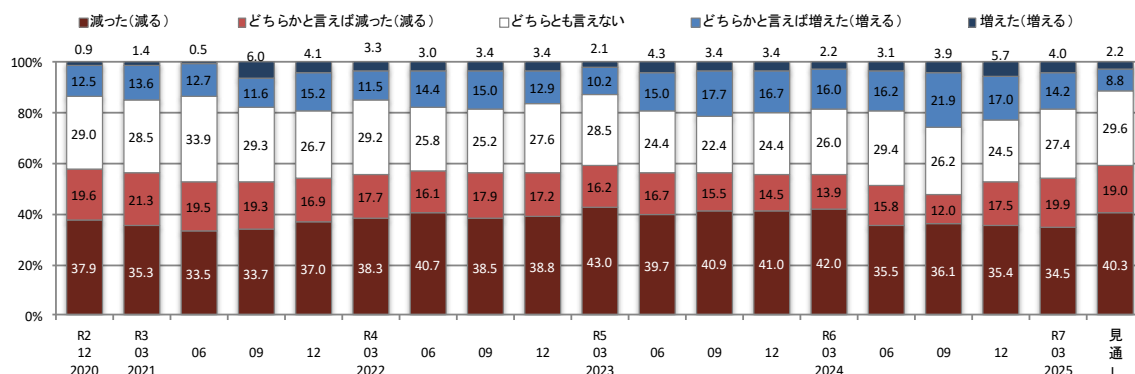
調査時期		暮らし向き判断指数				
			世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり
6年	3月	▲ 41.8	▲ 9.7	▲ 10.1	▲ 8.0	▲ 14.0
	6月	▲ 41.8	▲ 8.1	▲ 9.6	▲ 9.2	▲ 14.9
	9月	▲ 38.7	▲ 6.8	▲ 10.9	▲ 7.7	▲ 13.3
	12月	▲ 37.3	▲ 7.5	▲ 9.1	▲ 7.4	▲ 13.3
7年	3月	▲ 41.2	▲ 8.4	▲ 9.8	▲ 8.1	▲ 14.9
	(前期比)	(▲ 3.9)	(▲ 0.9)	(▲ 0.7)	(▲ 0.7)	(▲ 1.6)
	(前年同期比)	(0.6)	(1.3)	(0.3)	(▲ 0.1)	(▲ 0.9)
7年	見通し	▲ 47.6	▲ 10.8	▲ 11.0	▲ 10.6	▲ 15.2
	(今回調査比)	(▲ 6.4)	(▲ 2.4)	(▲ 1.2)	(▲ 2.5)	(▲ 0.3)

【指数の見方】

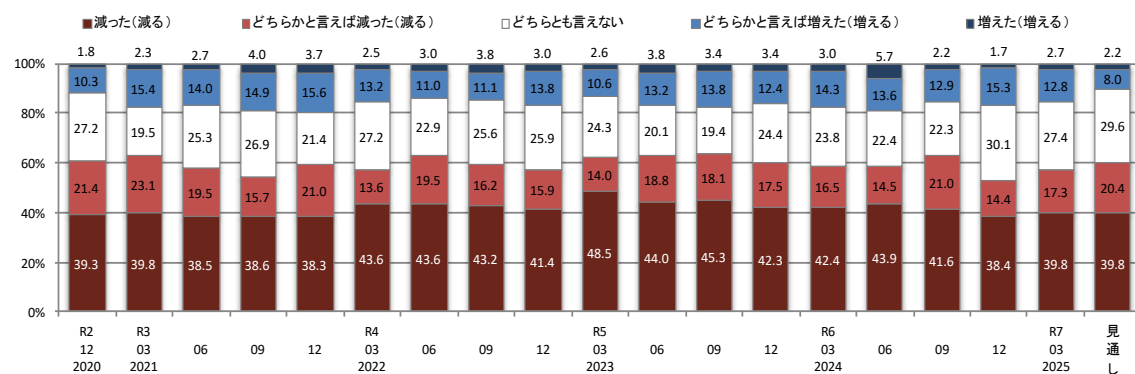
暮らし向き指数は世帯収入、保有資産、お金の使い方、暮らしのゆとりの4項目の合計からなり、値は 100 ～▲100 の範囲をとります。指数がプラスであれば暮らし向きは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば低迷していると判断します。

(2) 暮らし向き判断の推移

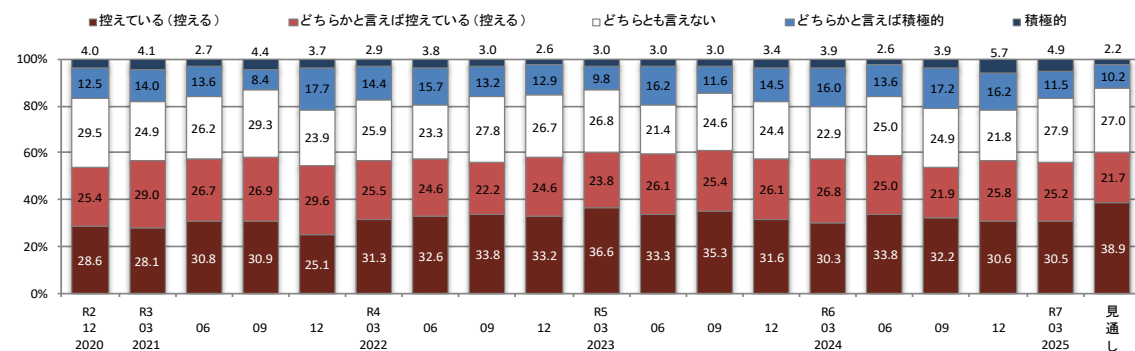
① 世帯（勤労）収入



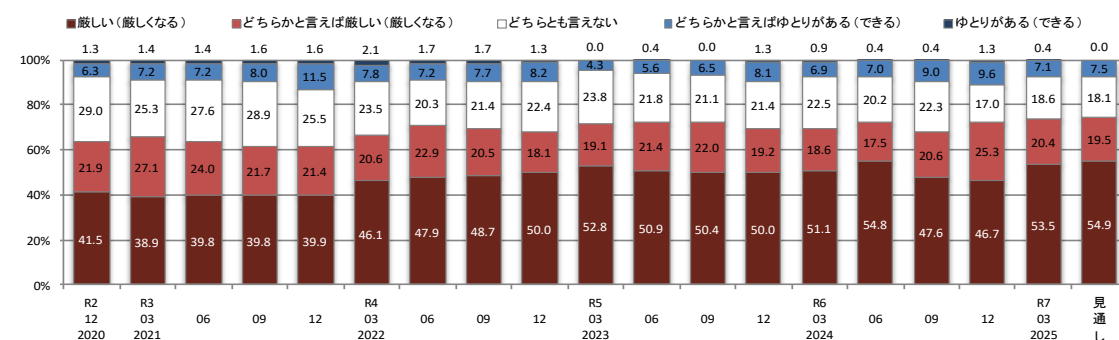
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



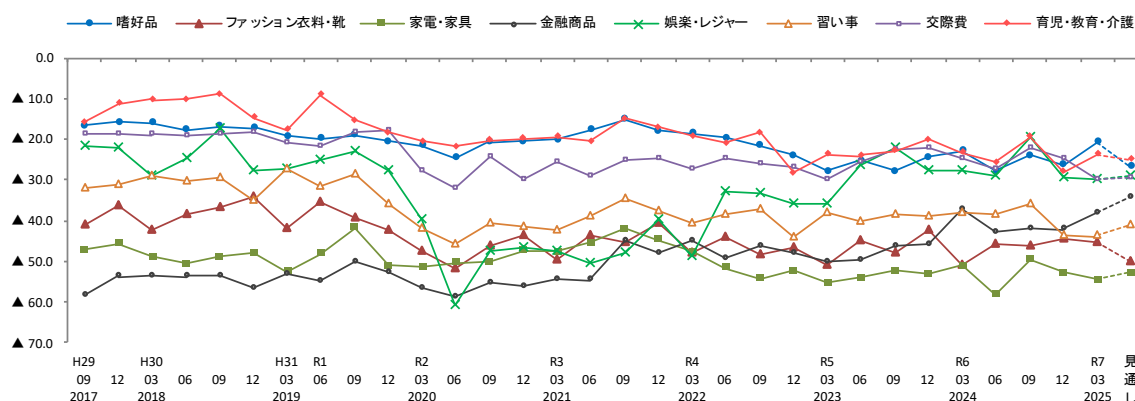
III. 支出意向

1. 支出意向 D I の推移

支出意向 D I の平均値は▲35.7（前期比 0.7 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。支出意向 D I を構成する 8 つの項目でみると、「嗜好品」「金融商品」「育児・教育・介護」の 3 項目で改善となったものの、「交際費」など他の 5 項目はいずれも悪化となった。

なお、今後の見通しについては▲36.0（今回調査比 0.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。8 つの項目でみると、「嗜好品」「ファッション・衣料品」「育児・教育・介護」の 3 項目では悪化が見込まれている一方、「金融商品」など他の 5 項目では改善の見通しとなっている。

図表 5 支出意向 D I の推移



調査時期		支出意向DI								
		平均値	嗜好品	ファッション・衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護
6年	3月	▲ 34.5	▲ 22.9	▲ 51.1	▲ 51.0	▲ 37.3	▲ 27.7	▲ 38.0	▲ 24.8	▲ 23.2
	6月	▲ 36.8	▲ 27.9	▲ 45.8	▲ 58.2	▲ 42.6	▲ 28.8	▲ 38.3	▲ 27.2	▲ 25.7
	9月	▲ 32.2	▲ 23.8	▲ 46.1	▲ 49.6	▲ 41.8	▲ 19.5	▲ 35.6	▲ 22.1	▲ 19.3
	12月	▲ 36.4	▲ 26.2	▲ 44.4	▲ 52.7	▲ 42.0	▲ 29.6	▲ 43.5	▲ 24.8	▲ 27.9
7年	3月	▲ 35.7	▲ 20.6	▲ 45.2	▲ 54.4	▲ 38.1	▲ 29.8	▲ 43.6	▲ 30.0	▲ 23.7
	(前期比)	(0.7)	(5.6)	(▲ 0.8)	(▲ 1.7)	(3.9)	(▲ 0.2)	(▲ 0.0)	(▲ 5.2)	(4.2)
	(前年同期比)	(▲ 1.2)	(2.3)	(5.9)	(▲ 3.5)	(▲ 0.8)	(▲ 2.2)	(▲ 5.6)	(▲ 5.2)	(▲ 0.6)
7年	見通し	▲ 36.0	▲ 26.7	▲ 50.2	▲ 52.7	▲ 34.1	▲ 29.0	▲ 40.9	▲ 29.5	▲ 25.0
	(今回調査比)	(▲ 0.3)	(▲ 6.1)	(▲ 5.1)	(1.8)	(4.0)	(0.8)	(2.7)	(0.5)	(▲ 1.3)

【D I 値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）嗜好品 D I 値

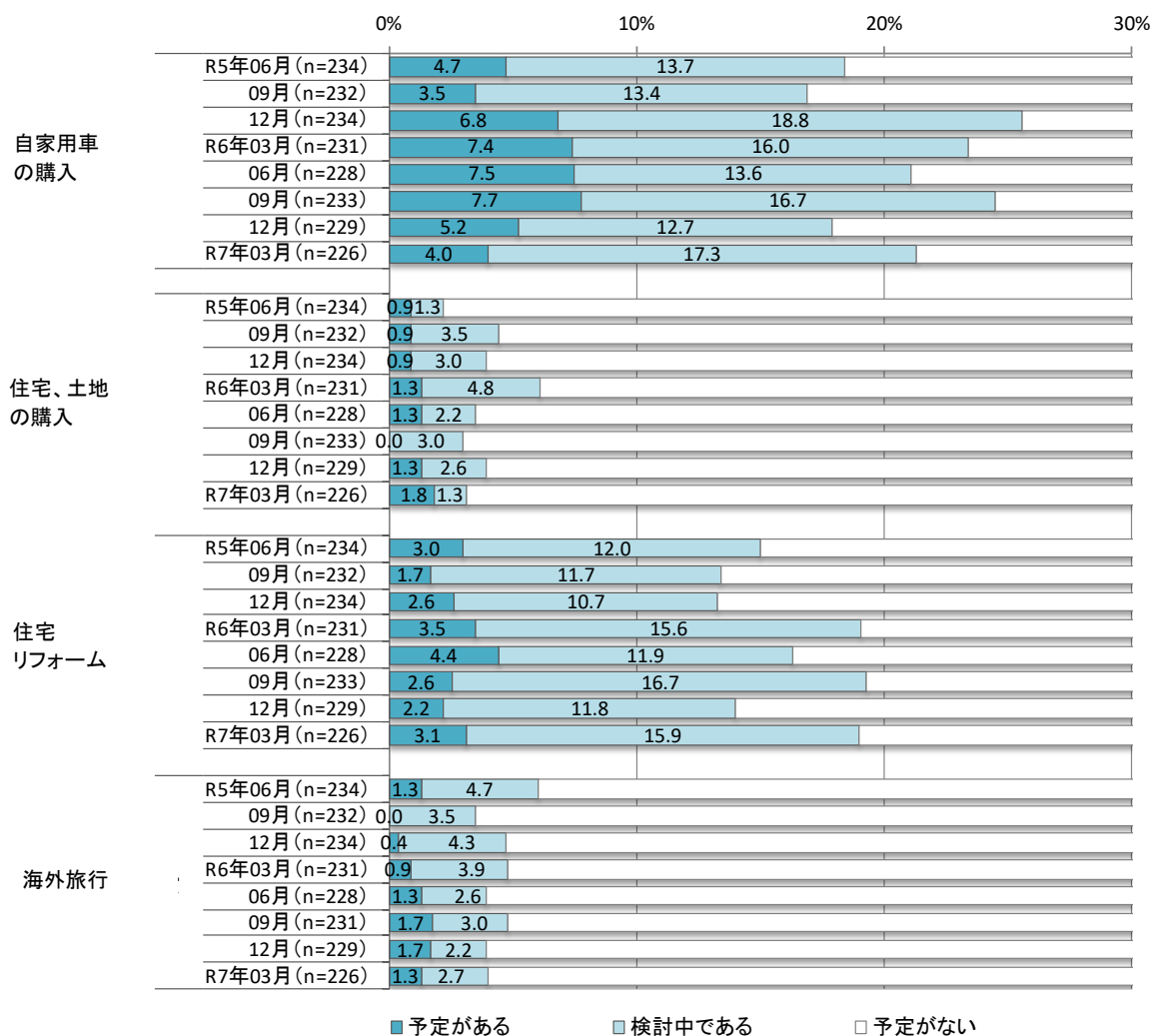
＝（「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5）－（「3. どちらかと言えば控えている」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0）

2. 支出意向（大きな買い物）の推移

大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車の購入」では 4.0%（同 1.2 ポイント下落）、「海外旅行」では 1.3%（同 0.4 ポイント下落）と低下した一方、「住宅、土地の購入」では 1.8%（同 0.5 ポイント上昇）、「住宅リフォーム」では 3.1%（同 0.9 ポイント上昇）と上昇した。

大きな買い物（支出）に前向きな世帯（「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯）の割合では、「住宅、土地の購入」では低下となった一方、その他の 3 項目ではいずれも上昇となった。

図表 6 支出意向（大きな買い物）の推移

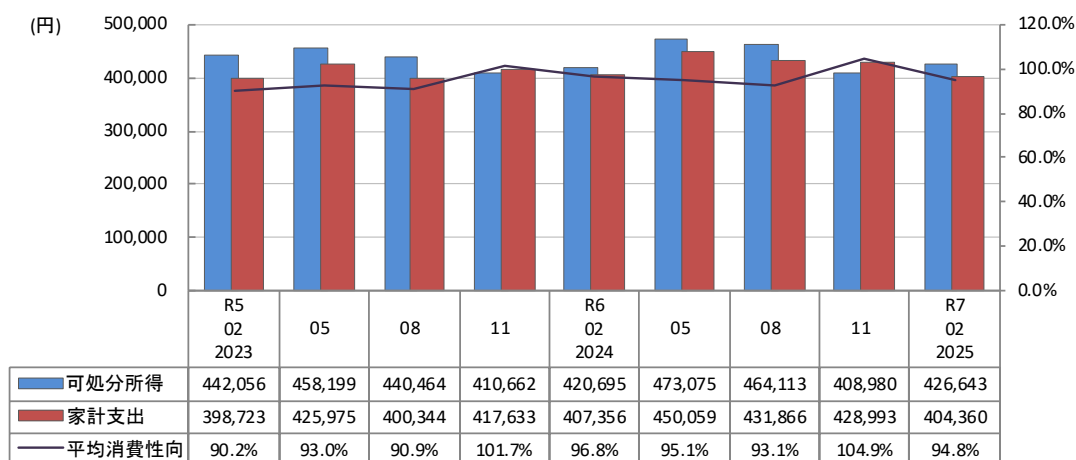


IV. 家計簿調査

図表7 令和7（2025）年2月の家計簿（226世帯）

調査項目		調査年月		R6年 2月	R6年 11月	R7年 2月	(単位:円)	
							前期比	前年同期比
給与	世帯主の定例給与《支給額》			325,603	335,842	358,544	22,702	32,941
	世帯主の臨時給与《支給額》			1,385	7,096	6,239	▲ 857	4,854
	A.世帯主の給与《支給額》			326,988	342,938	364,783	21,845	37,795
	世帯員の定例給与《支給額》			108,438	119,583	114,325	▲ 5,258	5,887
	世帯員の臨時給与《支給額》			1,103	3,296	209	▲ 3,087	▲ 894
	B.世帯員の給与《支給額》			109,541	122,879	114,534	▲ 8,345	4,993
	世帯収入合計《支給額》(A+B)			436,529	465,817	479,317	13,500	42,788
収入（手取り額）	世帯主の定例給与《手取り額》			252,127	259,152	259,863	711	7,736
	世帯主の臨時給与《手取り額》			1,156	5,279	5,469	190	4,313
	C.世帯主の勤労収入合計《手取り額》			253,283	264,431	265,332	901	12,049
	世帯員の定例給与《手取り額》			90,214	99,097	94,413	▲ 4,684	4,199
	世帯員の臨時給与《手取り額》			869	2,889	181	▲ 2,708	▲ 688
	D.世帯員の勤労収入合計《手取り額》			91,083	101,986	94,594	▲ 7,392	3,511
	世帯勤労収入合計《手取り額》(C+D)			344,366	366,417	359,926	▲ 6,491	15,560
	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)			35,041	9,425	34,334	24,909	▲ 707
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)			2,519	3,387	190	▲ 3,197	▲ 2,329
	3. 各種手当(児童手当、障害者手当など)			9,271	2,515	6,396	3,881	▲ 2,875
	4. 利息、株式配当、投信分配金			230	1,380	587	▲ 793	357
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)			715	4,541	619	▲ 3,922	▲ 96
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)			1,082	1,441	1,460	19	378
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)			1,325	498	0	▲ 498	▲ 1,325
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)			303	0	0	0	▲ 303
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)			92	2,674	116	▲ 2,558	24
	10. 保険満期返戻金			16,423	288	7,389	7,101	▲ 9,034
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)			0	2,772	3,053	281	3,053
	12. 相続、贈与、退職金			0	44	0	▲ 44	0
	13. 祝金、謝礼金、香典など			723	751	730	▲ 21	7
	14. 身内からの仕送り			1,040	3,297	730	▲ 2,567	▲ 310
	15. 借入れ(カードローン、キャッシング)			2,307	5,179	6,906	1,727	4,599
	16. その他			5,258	4,371	4,207	▲ 164	▲ 1,051
	E. その他収入(控除後)			76,329	42,563	66,717	24,154	▲ 9,612
	I. 収入計(C+D+E)			420,695	408,980	426,643	17,663	5,948
支出	1. 食費(飲食会費は含まない)			59,126	59,913	62,352	2,439	3,226
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)			9,828	15,285	10,335	▲ 4,950	507
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)			40,644	31,315	45,448	14,133	4,804
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)			11,101	12,614	12,088	▲ 526	987
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリなど)			10,775	11,506	8,454	▲ 3,052	▲ 2,321
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)			13,785	15,368	13,817	▲ 1,551	32
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)			4,794	4,646	3,711	▲ 935	▲ 1,083
	8. 交通費2(ガソリン代)			17,882	17,561	19,293	1,732	1,411
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)			10,224	22,558	10,852	▲ 11,706	628
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)			20,187	20,999	21,503	504	1,316
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)			19,069	13,001	13,395	394	▲ 5,674
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)			2,057	1,783	1,885	102	▲ 172
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)			16,545	15,092	16,940	1,848	395
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)			11,536	12,624	13,091	467	1,555
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)			3,069	2,065	1,834	▲ 231	▲ 1,235
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)			30,427	6,111	7,454	1,343	▲ 22,973
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)			8,448	1,843	6,305	4,462	▲ 2,143
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)			11,271	9,461	19,352	9,891	8,081
	19. 借入返済1(住宅ローン)			29,355	48,872	28,465	▲ 20,407	▲ 890
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)			11,221	13,033	11,681	▲ 1,352	460
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)			30,011	36,859	32,394	▲ 4,465	2,383
	22. 身内への仕送り(学生など)			7,560	10,588	12,732	2,144	5,172
	23. 小遣い、その他			28,441	45,896	30,979	▲ 14,917	2,538
	II. 支出計			407,356	428,993	404,360	▲ 24,633	▲ 2,996
平均消費性向(支出計÷収入計×100)				96.8%	104.9%	94.8%	▲ 10.1%	▲ 2.0%
平均貯蓄性向(1－平均消費性向)				3.2%	▲ 4.9%	5.2%	10.1%	2.0%

図表 8 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 427 千円となり、前年同期と比べて 6 千円の増額となった。勤労収入では、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が前年同期比で 12 千円増額したほか、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」は前年同期比で 4 千円の増額となり、これを合わせた「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 16 千円増額の 360 千円となった。「その他収入（控除後）」は 67 千円で前年同期に比べて 10 千円の減額となった。前年同期と比べて増減額の大きな項目は、「保険満期返戻金」が 9 千円の減少、「借り入れ（カードローン、キャッシング）」が 5 千円の増加、「保険一時金（生命保険、損害保険など）」が 3 千円の増加などとなっている。

支出面では支出合計が 404 千円となり、前年同期比で 3 千円の減額となった。前年同期と比べて増減額の大きな項目は、「高額商品（パソコン、家電、家具、インテリアなど）」が 23 千円の減少、「教育費（授業料、教材費、学習塾、部活費用など）」が 6 千円の減少、「金融商品 2（投資信託、変額・定額年金保険）」が 8 千円の増加、「身内への仕送り（学生など）」が 5 千円の増加などとなっている。

この結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 94.8%（前年同期比 2.0 ポイント下落）となった。

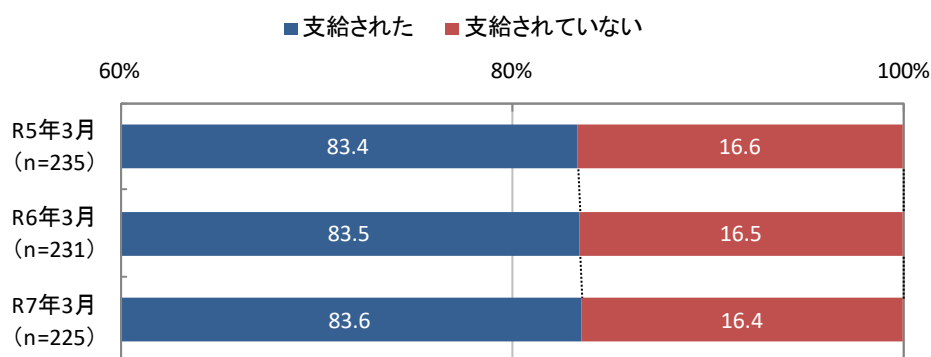
V. 特別調査

1. 冬季ボーナスの支給状況と使い道について

(1) 冬季ボーナスの支給について

冬季ボーナスが支給されたかどうかについて尋ねたところ、「支給された」と答えた世帯は 83.6% となり、前回調査（83.5%）に比べて 0.1 ポイント上昇し、引き続き 8 割以上を占めた。一方、「支給されていない」と答えた世帯は 16.4% で、引き続き 1 割台と低い割合であった。

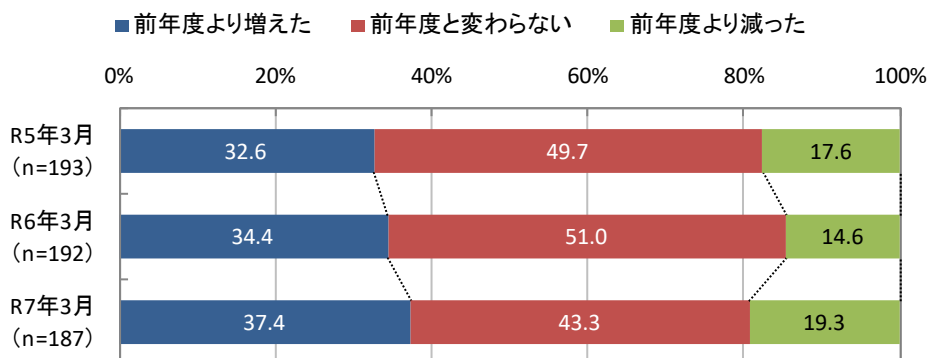
図表 9 冬季ボーナスの有無



(2) 支給額の変化について

(1) で冬季ボーナスを「支給された」と答えた世帯に、前年度冬季と比べた場合の支給額の変化について尋ねたところ、支給額が「前年度と変わらない」と答えた世帯が 43.3% と引き続き最も高かったものの、前回調査（51.0%）に比べて 7.7 ポイント割合は低下した。また、「前年度より増えた」と答えた世帯が 37.4% と前回調査（34.4%）より 3.0 ポイント割合が上昇したほか、「前年度より減った」と答えた世帯も 19.3% と前回調査（14.6%）から 4.7 ポイント上昇した。

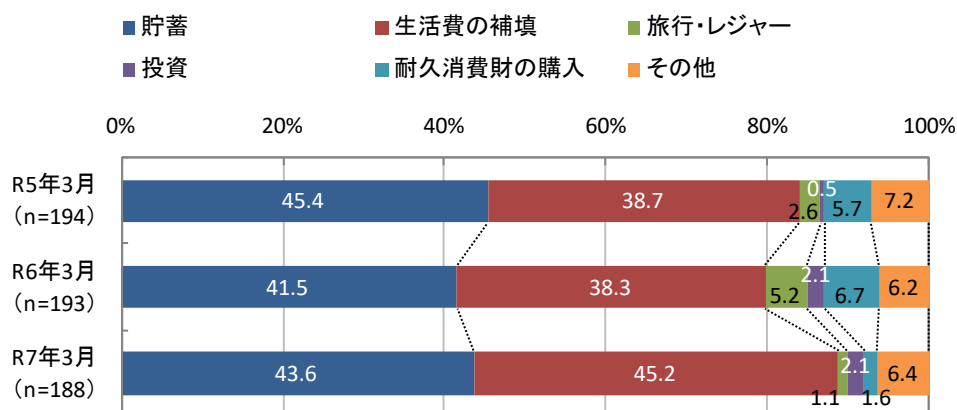
図表 10 前年度冬季と比べた場合の支給額の変化



(3) 冬季ボーナスの使い道について

(1) で冬季ボーナスが「支給された」と答えた世帯に、ボーナスの使い道（最も金額の大きいもの）について尋ねたところ、前回調査 2 位の「生活費の補填」が 45.2%と最も高い割合となった。この割合は前回調査（38.3%）から 6.9 ポイント上昇している。次いで同 1 位の「貯蓄」が 43.6%で続き、以下については「その他」（6.4%）、「投資」（2.1%）、「耐久消費財の購入」（1.6%）、「旅行・レジャー」（1.1%）となり順位は変動したものの、いずれも 1 割未満と引き続き低い割合であった。

図表 11 冬季ボーナスの使い道（もっとも金額の大きいもの）



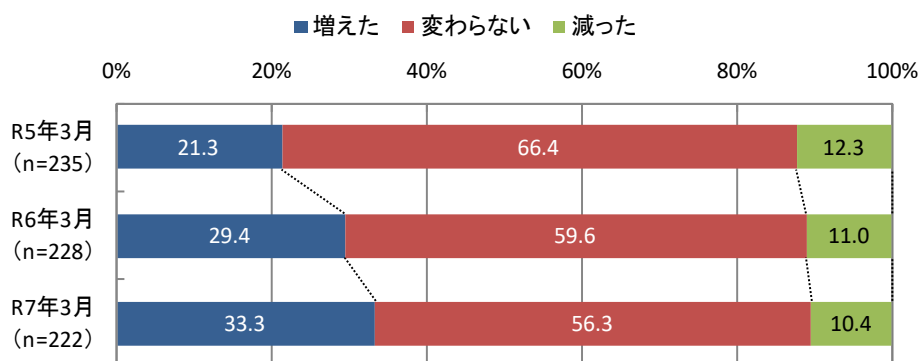
2. 最近の給与の実態について

(1) 定期給与、残業代の変化について

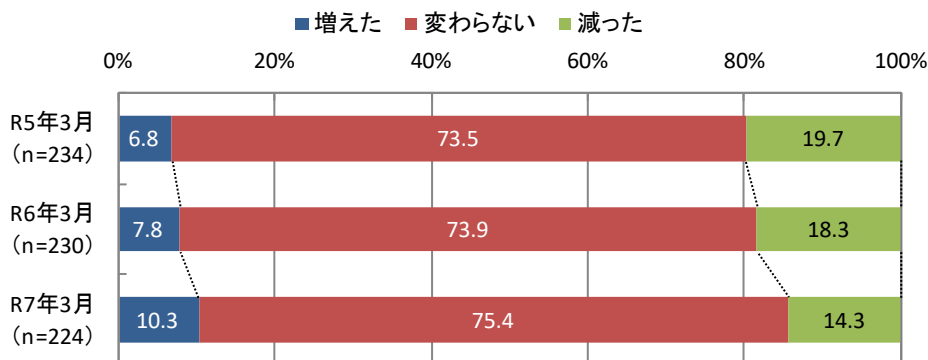
令和 6 年 5 月以降、定期給与（残業代を除く）および残業代がそれぞれ増えているかについて尋ねたところ、「変わらない」とした世帯は、定期給与（残業代を除く）については 56.3%、残業代については 75.4% とともに引き続き最も多くなった。「増えた」とした世帯は、定期給与（残業代を除く）では 33.3% と前回調査に比べて 3.9 ポイント上昇し、残業代では 10.3% と前回調査（7.8%）より 2.5 ポイント上昇した。

個別にみると、定期給与（残業代を除く）では「増えた」と答えた世帯が「減った」と答えた世帯を 22.9 ポイントと大きく上回った一方、残業代では「減った」と答えた世帯が「増えた」と答えた世帯を 4.0 ポイント上回っている。

図表 9 定期給与（残業代を除く）は増えたか



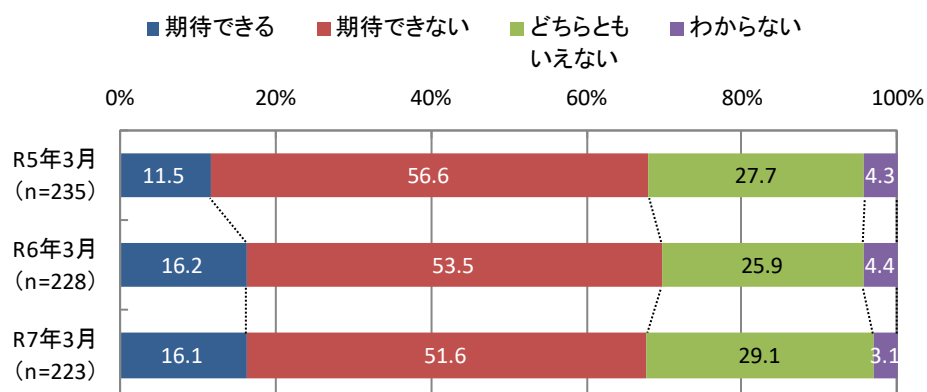
図表 10 残業代は増えたか



(2) 今後 1 年間に於ける定期給与増額への期待感について

この先 1 年間（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）、定期給与（残業代を除く）が増えることを期待できるかについて尋ねたところ、「期待できない」と答えた世帯が 51.6%と前回調査に比べて 1.9 ポイント低下したものの引き続き最も高い割合となった。また、「期待できる」と答えた世帯は 16.1%と前回調査（16.2%）から 0.1 ポイント低下した。

図表 11 定期給与（残業代を除く）が増えることへの期待感について



VI. 調査の概要

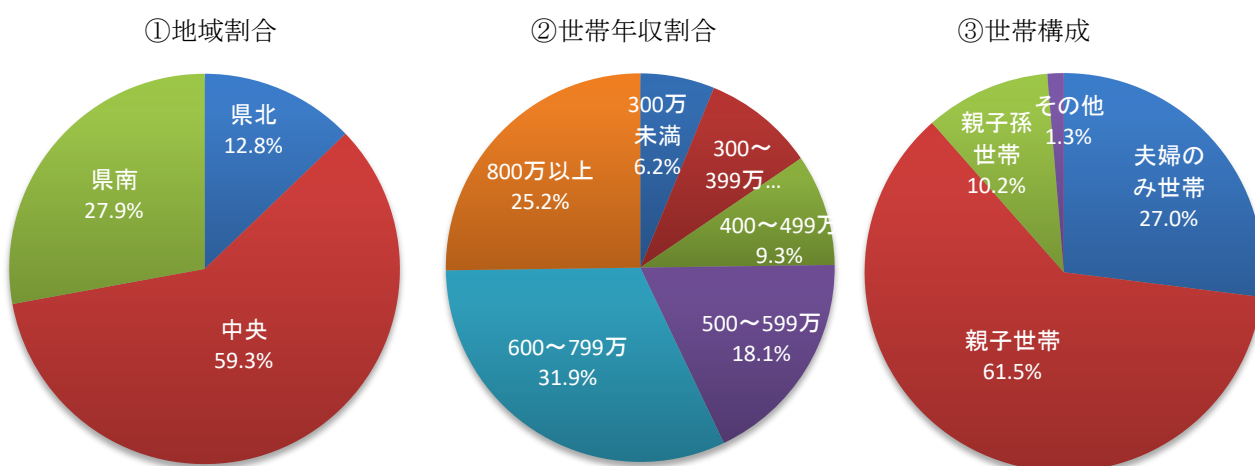
1. 調査の目的

秋田県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 専属モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：241 世帯 有効回答数：226 世帯 回答率：93.8%

3. 回答モニター属性



4. 調査の対象者

秋田県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数 2 人以上の世帯）

5. 調査期間

令和 7（2025）年 3 月 3 日（月）～17 日（月）

6. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県 北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中 央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県 南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

<お問い合わせ先>

株式会社 フィデア情報総研 地域政策コンサルティング部（秋田事業所） 小玉／小林

秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店内
Tel：018-837-1727 Fax：018-834-5508

山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F
Tel：023-626-9017 Fax：023-626-9038 E-mail：kenkyuu@fir.co.jp
URL：https://www.fir.co.jp/